

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																					
専門学校 九州ビジュアルアーツ		平成9年3月31日		稲實 洋祐		〒812-0011福岡県福岡市博多区博多駅前3-8-24 (電話) 092-474-9233																					
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																					
学校法人Adachi学園		昭和42年1月12日		安達 暁子		〒101-0062東京都千代田区神田駿河台2丁目11番地 (電話) 092-4747-9233																					
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																						
文化・教養	映像音響専門課程	放送・映画学科		平成16年文部科学大臣 告示第17号	-																						
学科の目的	TVの番組制作やミュージックビデオなど映像制作に必要な知識と技術、実際の番組や作品作りを通して、あらゆる作業を一人ひとりが実践的に習得し総合的な力を身につける。																										
認定年月日	平成26年3月31日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
2年	昼間	1,920時間	384	2,304	-	-	-																				
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																					
80人		92人	2人	3人	6人	9人																					
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各学科毎に試験、演習成果、出席状況等を総合的に勘案して行う。																						
長期休み	■夏 季:7月21日～8月31日 ■冬 季:12月20日～1月9日 ■冬 季:3月10日～4月4日			卒業・進級 条件	卒業規定単位取得 卒業規定による履修時間数を履修すること 学費を完納すること																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者は保護者面談を設ける			課外活動	■課外活動の種類 吹奏楽、野球など ■サークル活動: 有																						
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) 番組制作会社/映画制作会社/CM制作会社 ■就職指導内容 1年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、 企業研究や情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している ■卒業生数: 30人 ■就職希望者数: 27人 ■就職者数: 27人 ■就職率: 100% ■卒業者に占める就職者の割合: 90% ■その他 進学 (令和 元 年度卒業者に関する 平成32年5月1日 時点の情報)			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業者に関する令和2年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																								
中途退学 の現状	■中途退学者 2名 平成31年4月1日時点において、在学者79名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者77名(令和2年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 精神的理由・学習意欲の喪失など ■中退防止・中退者支援のための取組 カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。担任制による日々の学生状況の把握及び保護者との連携			■中退率	3%																						
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 無 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																										
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																										
当該学科の ホームページ URL	<a href="https://www.kva.ac.jp/course/broad_movie/">https://www.kva.ac.jp/course/broad_movie/</a>																										

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業等と定期的に会議等を通じて意見交換を行い、編成・改善を行う。協議内容は、授業教科目の名称や授業内容・方法の改善・工夫をはじめ、放送業界の動向をふまえ、働く為に必要とされる科目設定・授業内容等とし、授業方法は演習型授業(知識・技術)を主体に行う

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学校教育法第133条、並びに学校教育法施行規則189条、及び学校法人Adachi学園理事会の決議に基づき、教育課程編成委員会を置く。この委員会は、教育の質の保証及び改善をするため、専門学校九州ビジュアルアーツの教育活動の状況に関する評価を行い、教育活動の更なる躍進の為活動をするものである。教育課程編成委員会が出された意見を基に、専任教員で行う学務会議で其々の意見を審議し、即時対応できるものは学科長がカリキュラムやスケジュールに落とし込む。校長及び学務責任者で、学科間の調整を図り、各学期の始めに行われる講師会及び各学科の分科会で、学校・学科の方向性を示し、授業に反映させていく。問題が生じた場合は随時対応し、より良いものに変更を加えていく。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
稲實 洋祐	専門学校九州ビジュアルアーツ 学校長	平成31年4月1日～ 令和5年3月31日	
森本 雅具	専門学校九州ビジュアルアーツ 放送・映画学科長	平成31年4月1日～ 令和5年3月31日	
田中 稔	専門学校九州ビジュアルアーツ 事務長	平成31年4月1日～ 令和5年3月31日	
藤屋 登	協同組合 日本映画・テレビ照明協会 九州支部代表	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日	①
大仁田 英貴	株式会社コーホ一部 代表取締役社長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日	③
佐々原 葉子	イメージフィールド福岡株式会社 代表取締役社長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年間2回開催(毎年4月、11月)

(開催日時(実績))

第1回 平成31年4月23日(火) 15:00～16:40

第2回 令和元年11月19日(火) 15:00～16:20

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

カリキュラム統一に伴い、学校内の規模や設備、環境の違いによって実技授業実施の困難や矛盾が生じてしまうのではないかという指摘があった。当学科の入学人数が増加していることから、学生が学習する環境を早急に更新していきたい。設備の更新や導入に関しては来年度を目処に進めていく方向であり、該当教室の美装など学習環境の整備だけでなく、新規パソコン等の導入など設備環境の調整も行なっている。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

アニメーション制作についての知識・技術向上を目的とし、より業界の求める人材育成のために、企業の方に制作課題を設定して頂き、実践的な演習型授業を行う。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

業界が求める技術レベルや人材を育てるため、実践学習を通し、業界の方から学生への指導に必要な課題内容の検討、今後の業界の動向などの意見交換を行い、カリキュラムへ取り入れる。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等

映像照明技術	照明の役割と基本 シチュエーションに応じた映像照明を理解する	株式会社 九州ハートス
--------	-----------------------------------	-------------

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学校法人Adachi学園の業務に必要な知識及び技能を計画的に教育し、知識、技術、企画力、判断力を持ち合わせた社会人育成を目的としている。『教職員研修規程』に定める基本事項に添った教育研修を行っている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「第37回JAAAクリエイティブ研究会・福岡」(連携企業等:一般社団法人日本広告業協会)

期間:令和元年11月12日(火) 対象:教員、CG映像学科学生

内容:広告業界のトップクリエイターのセミナーに参加し、いま求められている映像の手法や思考力、指導力を学ぶ。

研修名「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」(連携企業等:一般社団法人ACC)

期間:令和元年11月28日 対象:教員、CG映像学科学生

内容:賞を獲得するような全国の優れた作品に触れ、手法や表現の幅を学び指導に取り入れる。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「人権・同和研修会」(連携企業等:福岡県専修学校各種学校協会)

期間:2019年11月21日(木) 対象:教員

内容:人権と同和に関する講演会

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「第37回JAAAクリエイティブ研究会・福岡」(連携企業等:一般社団法人日本広告業協会)

期間:令和元年11月頃(新型コロナウイルスの影響により未定) 対象:教員、CG映像学科学生

内容:広告業界のトップクリエイターのセミナーに参加し、いま求められている映像の手法や思考力、指導力を学ぶ。

研修名「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」(連携企業等:一般社団法人ACC)

期間:令和2年11月頃(新型コロナウイルスの影響により未定) 対象:教員、CG映像学科学生

内容:賞を獲得するような全国の優れた作品に触れ、手法や表現の幅を学び指導に取り入れる。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「人権・同和研修会」(連携企業等:福岡県専修学校各種学校協会)

期間:2020年2月25日(火) 対象:教員

内容:人権と同和に関する講演会

※なお、新型コロナウイルス感染症の流行状況を鑑み、開催中止となりました。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

自己評価の評価結果について、卒業生、企業等の関係団体、地域住民などの専門学校と密接に関係するものと理解促進や連携教育により学校運営の改善を図る。限られた時間を有効に活用するために、重点課題などを取り上げ、集中した審議を行っていく。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	学校の理念・目的・育成人材像
(2) 学校運営	目的等に沿った運営方針の策定
(3) 教育活動	キャリア教育の視点に立った教育方法などの実施
(4) 学修成果	キャリア形成の効果を把握し学校の教育活動の改善
(5) 学生支援	卒業後の進路に関する体制の整備
(6) 教育環境	教育上または安全の十分な施設・設備の整備
(7) 学生の受入れ募集	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組み
(8) 財務	目的・目標に照らした有効かつ妥当な中期計画的な年度予算
(9) 法令等の遵守	法令と設置基準等の遵守と適正な運営
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献のための学校の教育資源や施設を活用
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- 本校の留学生入学者数が伸びていることに対して、就労目的や偽装留学が目的の留学生が増えているのではないかと指摘があった。そのようなことを避けるためにも学生募集の対象国を広げている。学生を紹介してくれる現地の語学学校担当者との連携をさらに強めていきたい。
- 業界をイメージしにくいことから業界の就職者数や認知度の低下を危惧しているという意見があったことを受け、募集活動において入学後学習する内容や将来の仕事に関して紹介するだけでなく、入学前の保護者対応にも力を入れており保護者の教育現場への理解にも働きかけている。
- 社会人としての自覚や責任感を持った上で即戦力になる人を育ててほしいという提言があり、専門技術や知識の修得のほか、コミュニケーション

能力向上のために在学中から企業研修等を積極的に取り入れ社会性を養えるよう強化している。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年3月31日 現在

名前	所属	任期	種別
平田 章裕	福岡県洋菓子協会	令和元年9月1日～ 令和3年8月31日 (2年)	業界団体
荻田 英二	(株) 荻田商業建築デザイン事務所	令和元年9月1日～ 令和3年8月31日 (2年)	卒業生
田中 誠二	オリエンタルホテル福岡	令和元年9月1日～ 令和3年8月31日 (2年)	卒業生
福島 真祐	福岡市博多区博多駅前3丁目2区自治会	令和元年9月1日～ 令和3年8月31日 (2年)	自治会長
藤 厚久	福岡県博多女子高等学校	令和元年9月1日～ 令和3年8月31日 (2年)	学校長が必要と認めた者
長田 言志	株式会社Too 福岡支店	令和元年9月1日～ 令和3年8月31日 (2年)	学校長が必要と認めた者
小川 倫恵子	アミ・シュプール	令和元年9月1日～ 令和3年8月31日 (2年)	卒業生
溝江 多佳子	株式会社イクティス	令和元年9月1日～ 令和3年8月31日 (2年)	学校長が必要と認めた者
後藤 大輔	税理士法人アーク・パートナーズ	令和元年9月1日～ 令和3年8月31日 (2年)	会計士
吉塚 正希	株式会社映像ボックス	令和元年9月1日～ 令和3年8月31日 (2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) ( )

URL: <https://www.kva.ac.jp/archives/001/202008/KVA学校情報.pdf>

公表時期: 令和2年10月

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の学校関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、企業等の学校関係者に対し、当該専門学校での教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供し説明する等の理解を得るため取り組むを行う事を基本方針とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の教育・人材教養の目標・教育活動計画
(2) 各学科等の教育	カリキュラム、卒業生数、卒業後の進路
(3) 教職員	各教員の担当科目、校務分掌組織等、教職員の研修・研究活動
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組状況
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校・学科の行事(イベント)の取組とその評価結果
(6) 学生の生活支援	就職に関する体制、卒業生への支援体制
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金の取扱い
(8) 学校の財務	事業報告書
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	学則

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) ( )

パンフレット、募集要項、webサイト

URL: <https://www.kva.ac.jp/archives/001/202008/KVA学校情報.pdf>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 放送・映画学科)															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		ノンリニア編集スキル	Photoshop/Illustratorのオペレーション・グラフィック制作基礎について PremiereProオペレーションおよびノンリニア編集基礎	1通	128	8	○			○	○			
2	○		CM企画演出 I	映像の全体像、社会的意義などを包括的に理解する	1通	128	8	○			○		○		
3	○		映像表現基礎	映像の全体像、社会的意義などを包括的に理解する。 実際の映像制作を通して業務全体のスケール感やスピード感を体感する。	1通	128	8	○			○		○		
4	○		映画制作基礎	表現のジャンルの中でさらには映像の他ジャンルの中で 「映画」の位置づけを考えられるようになる	1通	192	12	○			○	○	○		
5	○		番組企画制作	映像の全体像、社会的意義などを包括的に理解する。 実際の映像制作を通して業務全体のスケール感やスピード感を体感する。	1通	128	8	○			○	○	○		
6	○		ストーリー構成	ストーリーの種類を知り、基本的なストーリーを構成できるようになる。 そして課題を通して様々なストーリー構成を知り、最適な構成を使いこなせるようになる	1通	128	8	○			○		○		
7	○		リクルートナビゲーション	就活に向けた社会人基礎力鍛錬/コミュニケーション能力の習得	1通	64	4	○			○		○		
8	○		リクルートナビゲーション	ビジネスパーソンとしての心得	2通	64	4	○			○		○		
9	○		ホームルーム	自己管理	2通	64	4	○			○		○		
10	○		映像照明技術	照明の役割と基本 シチュエーションに応じた映像照明を理解する	1通	128	8	○			○	○	○	○	
11	○		映像照明技術	演出における照明プランおよび機材の選定を理解し クオリティ(スピード)を高めるI	2通	128	8	○			○	○	○		

12	○		映画史・映像論	映画の歴史と映像考察から映像構成を学ぶ	1前	32	2	○			○									
13		○	映像作品研究	映像作品から自己を分析する	2通	128	8	○			○				○					
14		○	映像制作技術	作品制作を通じて自己表現のスキルを高め、客観的な魅力ある一本を完成させる	2通	128	8		○		○									○
15		○	映像制作演出	作品制作を通じてカットの構成を中心とした効果的な演出方法を学ぶ また、出演者、その他への演技指導の効果的な演出方法を学ぶ	2通	128	8		○		○									○
16		○	コピーライティング	基本的な日本語の構造分析と広告の世界におけるコピーの意義、役割を知る また、実際に効果的で「刺さる」コピーを書けるようになる	1後	32	2	○			○									○
17		○	映画テクニカルワーク	制約と挑戦 再度映画制作に制約を設けることで、見つめ直す演出論とそれをクリアするための技術力	2通	128	8		○		○		○							○
18		○	プロデュースワーク	制作進行の効率化を考える グループでの制作の基本を学び、個人制作からのクオリティーアップを目指す	1後	32	2		○		○		○							○
19		○	プロデュースワーク	プロの現場を意識したハイクオリティな作品作りに必要な知識と技術の理解	2通	96	6		○		○		○							○
20		○	照明テクニカルワーク	演出における照明プランおよび機材の選定を理解し、クオリティ(スピード)を高める	2通	96	6		○		○									○
合計					17科目	2080単位時間 ( 130 単位)														

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業条件は卒業規程単位の取得・卒業制作の合格条件を満たすこと。 履修方法は各学期毎に行う試験、演習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 放送・映画学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1		<input type="radio"/>	番組企画演出	制作を通じた進行と管理の強化 VTRとスタジオを組み合わせた番組制作	2後	64	4	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
2		<input type="radio"/>	ポストワーク	映像信号・各種フォーマット・システムの理解	1後	32	2	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
3		<input type="radio"/>	ポストワーク	最終フォーマットのクオリティを理解する	2前	64	4	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
4		<input type="radio"/>	映像ゼミナール	既存の映像作品を徹底的に論理的に考察、 分析しながら、メディアミックスを組み込んだ 映像作品を完成させる	2後	32	2	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
5		<input type="radio"/>	ファイナルワークA	仕上げのクオリティアップ	2後	32	2	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
6		<input type="radio"/>	ファイナルワークB	仕上げのクオリティアップ	2後	32	2	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
7		<input type="radio"/>	ライフデザイン	社会人になる為のベースアップ及びライフプランニング	2後	32	2	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
8		<input type="radio"/>	企業研修Ⅰ	企業における実務研修	1後	224	14	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
9		<input type="radio"/>	企業研修Ⅱ	企業における実務研修	2通	448	28	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
10															
合計					8科目	960単位時間 ( 60 単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業条件は卒業規程単位の取得・卒業制作の合格条件を満たすこと。 履修方法は各学期毎に行う試験、演習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。